



## 冬来たりなば春遠からじ

### ～ウェルビーイング 幸せの四因子～

校長 吉満 ふくみ



今年の冬は、寒波が何度も襲来し、季節を知っている木々や草花の成長も、少し昨年より遅い気がします。そんななかでも、校庭や校区グラウンドの木々の芽の膨らみを発見すると、春を迎える準備をしていることを実感します。「冬来たりなば春遠からじ」。寒くて厳しい冬が来たということは、暖かな春がついそこまで来ている、どんなに現在が不遇であっても、その先には明るい希望の日々が待っているというたとえであり、イギリスの叙情詩人シェリーの「西風に寄せる歌」の末節にある句として有名です。

【本校技師が心を込めて栽培した花たち】



寒さが厳しい日がまだ続いていますが、確実に春は近づいています。校庭で元気に遊び、なわとび学習発表に向けて個人種目やクラスでの長縄跳びの記録更新めざして努力し、授業中に出された課題に対して自分で考えたり、友だちと対話したりしながら「ぐるぐる頭を働かせっぱなし」で解こうとする子供たちを見ていると、たくさんの元気と幸せ感をもらいます。子供たちの存在は「希望の光」であり、その成長を間近で見れる喜びを感じられることは教師冥利に尽きます。このような安城っ子に育っているのも、家庭や校区の方たちがいつも愛情をもって関わってくださっているからこそだと思います。改めて感謝申し上げます。



さて、最近「ウェルビーイング」という言葉を聞くことが多いと思います。

「ウェルビーイング」とは多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念です。「幸せ」ということについて、私は慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科・教授 前野 隆司 先生の論を読んで心にストンと落ちたことがあります。幸せに影響する要素は、主に次の四因子が影響していると論じられていたので紹介します。

まず、一つめの因子は「やってみよう因子」と名付けられています。「夢や目標を叶えた人は幸せ」、「夢や目標をもっている人は幸せ」、「努力し成長している人は幸せ」なのだそうです。子供たちへの声かけの仕方やいろいろな機会の与え方などに活かそうです。例えば「〇〇さんはこんなことができるようになったね!」「去年はこれくらいだったのに、今年はこんなこともできるようになったね!」など、成長を実感させる言葉がけが大切です。

二つめの因子は「ありがとう因子」です。「いろいろなことに感謝する人は幸せ」、「親切で利他的な人は幸せ」、「多様な友だちをもつ人は幸せ」なのだそうです。積極的に人を助ける機会（お手伝いやボランティア）を与えること、いろいろな種類の友だちができる（学級や学校だけではなく、習い事やスポーツ交流など）ようにサポートすることが大切です。

三つめの因子は「なんとかなる因子」です。「自己肯定感が高い人は幸せ」、「楽観的でポジティブな人は幸せ」、「前向きに自分らしく生きる人が幸せ」なのだそうです。なによりまず子供たちに前向きな声かけをすること、失敗してもそれを叱るよりも励ましの言葉がけをして気持ちを切り替えるのを手伝ってあげる、というのがよさそうですね。

四つめの因子は「ありのままに因子」です。「人の目を気にしすぎない人は幸せ」、「自分らしさをもっている人は幸せ」、「自分のペースを守る人は幸せ」なのだそうです。前野教授は「『オタク・天才・達人』をめざせ!」とも言われています。子供が興味をもつこと、好きなことを徹底的にやらせてみて、大人は子供の応援団であることが大切です。

つまり、四因子がバランスよく備わり、夢や目標をもって家族や仲間とワクワクした毎日を過ごし、そのことに素直に感謝し、困難があっても「なんとかなる」とマイペースな人生を生きている人は、幸福度が高いということです。

授業が楽しい、クラスや学校のみなという時間が楽しいと思えて、自分の将来に希望をもち、みんなの幸せを願えるそんな子供たちになってほしいと思います。学校・家庭・地域で、更に子供たちを応援していきましょう。

【3月8日は「国際女性デー」】「国際女性デー」は、女性の地位向上、女性差別の払拭等を目指す国際的な連帯と統一行動の日。最近では、シンボルとなる花の名前を使い「ミモザの日」とも言われます。



## 『OBと留学生が先生事業』実施

1月31日(金)に『OBと留学生が先生事業』を実施しました。これは、JICA(国際協力機構)の経験者が諸外国での経験を子供たちに伝え、その国の生活や文化等を知り、国際理解を深める学習として行われるものです。当日は「JICA」OBの佐藤 貴之さんを安城小にお迎えし、佐藤さんが派遣された「カンボジア」について、現地での生活や環境、文化について学びました。カンボジアの「あいさつ」や「学校」の様子、「雨季や乾季」「高床や水上の住居」、佐藤さんが監督をされた「野球のナショナルチーム」の様子など、様々な視点から見たカンボジアという国の様子を、画像を交えて教えていただきました。子供たちは、日本では味わえない新鮮な外国の情報に、目を輝かせながら聴き入っていました。

昼休みには、カンボジアの遊び「サイ」を教えていただき、校庭で一緒に楽しむこともできました。佐藤さん、楽しいひとときを、本当にありがとうございました。



楽しいお話、楽しい給食、楽しい遊びをありがとうございます！

## 『2月の安城小学校』

☆ 5日(水)の全校朝会では「高齢者の人権」について、校長先生が話をしました。今の日本をつくってくださった人生の先輩であること、認知症のことや、サポートする人が周りにいることの大切さなどについて学びました。

☆ 1月から3回にわたって行われた「カシミアバドミントン&卓球(スポーツタイム)」(18:00~)。1月17日には〇〇小学校から「〇〇教諭」を講師としてお招きしたバドミントン活動、2月14日には、本校「〇〇教諭」による卓球指導と、楽しい1時間を過ごすことができました。先生方、子供たちのために、ありがとうございました。

☆ 各教室からは、朝の会や音楽の授業で子供たちが卒業式のために別れの言葉を練習している声や優しい歌声が聞こえてきます。微笑ましくも、ちょっぴり寂しい2月に入りました。



全校朝会



カシミアバドミントン&卓球



卒業式の歌練習

## 『安城小〇〇タイム』

12日(水)昼休みの「ハッピータイム(全校遊び)」は、子供たちが企画した「けいどろ(子供VS先生方)」を行いました。子供たちは制限時間いっぱい逃げ切り、先生方はあっという間につかまるという一方的な展開(苦笑)。しかし、小規模校ならではの企画に、参加者全員から素敵な笑顔がこぼれていました。

19日(水)の「あったかタイム」は、緑化係による植物クイズを行いました。子供たちが1年間学習したり、育てたりした植物についての豆知識(種や花びら、種類や特徴など)を学ぶことのできるクイズで、楽しい時間を過ごすことができました。



ハッピータイム&あったかタイム

## 【3月の主な行事予定】

- 4日(火) 授業参観・学級 PTA  
学校保健委員会・家庭教育学級
- 5日(水) お別れ茶話会(5・6年生)
- 6日(木) 校区青少年育成協議会
- 7日(金) 劇団四季ミュージカル観劇(5・6年)
- 12日(水) 卒業式設営(体育館利用停止期間)
- 13日(木) 卒業式予行・移動図書館車  
学校評議員会・学校関係者評価委員会
- 20日(木) (祝)春分の日
- 23日(日) 親子読書の日・ノーメディアデー
- 24日(月) 第78回卒業式
- 25日(火) 修了式・辞任式・集団下校  
PTA・校区合同送別会
- 26日(水) 春休み(~4/7)・PTA 監査

※ 3月は、土曜授業はありません。